

課題情報シート

テーマ名 :	うちなーフォトウエディング～オリジナルウエディングの企画・実施～				
担当指導員名 :	山崎 浩一	実施年度 :	24 年度		
施設名 :	沖縄職業能力開発大学校				
課程名 :	専門課程	訓練科名 :	ホテルビジネス科		
課題の区分 :	総合制作実習課題	学生数 :	2	時間 :	12 単位 (216h)

課題制作・開発のポイント

【開発（制作）のポイント】

このオリジナルウエディングの企画には、文献等による情報だけでなく実際の現状を知った上で、現状に即したものが必要になります。また、関係者ではなく一般の人をモデルに起用する際には十分なコミュニケーションの元打ち合わせが大切であり、相手の希望とこちらの要望とのすり合わせが大切なポイントです。準備、場所等の確保、交渉等の準備作業が実施における一番の問題点でしょう。この問題の解決策を見つけ実施までたどり着けるかを最大の目的としました。

【訓練（指導）のポイント】

文献、インターネット等での情報収集だけでなく、実際にブライダル業者や写真館等の調査行い見聞を深め、総合的な知識を事前に習得させる必要があります。

マーケティングの基本原則に則り、商品企画・開発に必要なコンセプトを設定し企画商品をデザイン、試作し、その特性を踏まえ実際のフォトウエディングの企画実施に繋げて行く事ができました。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 沖縄職業能力開発大学校
住所 : 〒904-2141 沖縄県沖縄市池原 2994-2
電話番号 : 098-934-6282 (代表)
施設 Web アドレス : <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college>

課題制作・開発の「予稿」および「テーマ設定シート」

次のページ以降に、本課題の「予稿」および「テーマ設定シート」を掲載しています。

うちなーフォトウェディング～オリジナルウェディングの企画・実施～

沖縄職業能力開発大学校 ホテルビジネス科

1. はじめに

近年、初婚年齢の上昇や離婚率の上昇、未婚者の増加など、人々の結婚に対する意志の薄れが大きな社会問題となっている。

結婚について理解してもらい、興味を持って欲しい。そして、オリジナルウェディングの提供をしていきたいと思い、この企画・実施を行った。

2. 目的

今の現状を改善するため、結婚式について理解してもらう。オリジナルウェディングを提供することにより、興味を持ってもらい、結婚への意識を高めてもらう。

3. 研究内容

- ・結婚式の歴史
- ・結婚式の種類
- ・沖縄県の結婚状況
- ・フォトウェディングについて
- ・アンケート調査
- ・フォトウェディングの企画・実施
- ・アルバム・DVD作成
- ・感想・今後の課題・まとめ

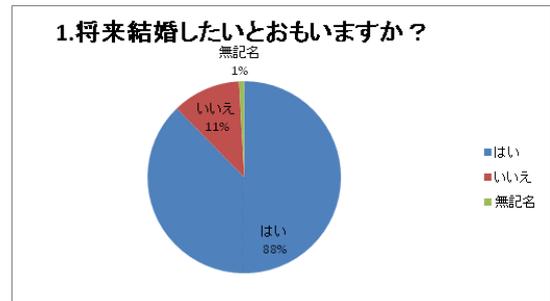
4. 活動内容

インターネット・情報誌で結婚式について学び、その中でも現在、注目を浴びているフォトウェディングというスタイルをとりあげ、私達のオリジナルウェディングとして企画・実施した。

5. 研究結果

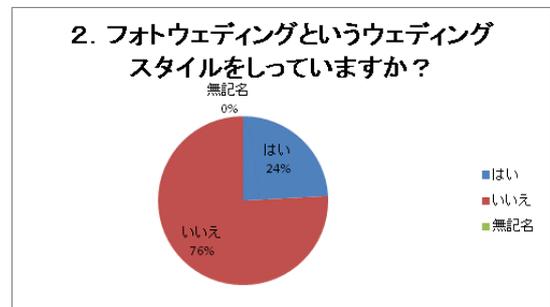
最近ではチャペルでの結婚式が多くなっている。しかし、明治以前では挙式が行われることはなく、次第に皇族から始まり一般人に広まっていった。そして現在、様々な理由で挙式を挙げていない夫婦でも2人の大切な思い出を残せるフォトウェディングという新たなスタイルが誕生している。

そのフォトウェディングに関するアンケート調査を未婚の男女約200名に行った。以下が、そのアンケート結果である。



アンケート結果1

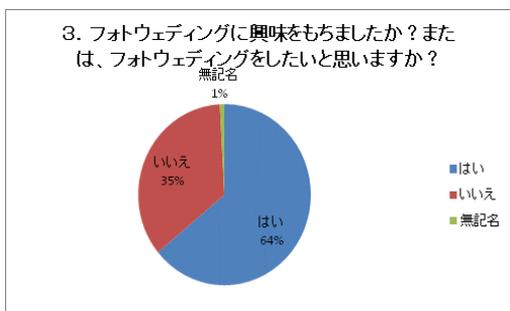
将来結婚したい人は約9割で、結婚願望が強いことが分かった。



アンケート結果2

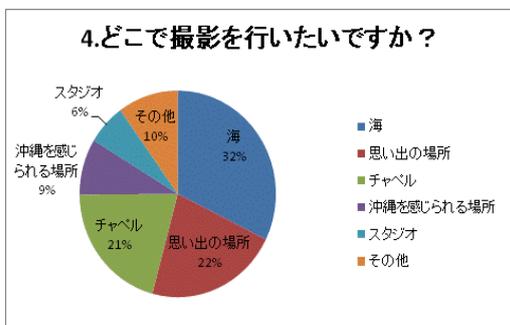
ほとんどの人が知らないということが分かった。そこで簡単にではあるが、

フォトウェディングについての説明を行い、次の質問をした。



アンケート結果3

約7割の人が知らなかったのに対し、多くの人達が興味を持ってくれた。



アンケート結果4

<撮影場所ランキング>

- 1位. 海
- 2位. 思い出の場所
- 3位. チャペル

これらを基に、オリジナルウェディングのテーマを「NATURAL」とし、実際のカップルに協力してもらい企画・実施した。

企画・実施する際に、ブライダルプランナーの方から助言を頂いたり、モデルとの打ち合わせ、衣装合わせ、ブーケ作成など計画的に行った。また、モデルの新郎役から新婦にサプライズをしたいという要望があり、二人の思い出のぬいぐるみに新郎新婦と同じ衣装を自分たちで作成し、撮影当日サプライズした。



★手作り衣装の
Wedding bear

<第1回目の撮影：12月1日>

この日は、あいにくの雨となり当初予定していたロケーション撮影を行うことができなかった。しかし、二人の思い出の場所と手作りのスタジオで撮影を行った。

★手作りチャペル→

★思い出の場所↓



★Balloon room ↓

★Christmas room ↓



<第2回目の撮影：1月中旬予定>

第1回目のでできなかったロケーション撮影を予定している。全撮影終了後は、アルバム作成に取りかかる。

6. まとめ

フォトウェディングを実施する事は、とても大変ではあったが、新郎新婦にとっては一生の思い出となるものであり、お互い結婚して良かったと再確認できるものだと感じた。私たちの卒研の取り組みでも多くの方が結婚に理解を示し、興味を持ってもらい、将来に繋がれたら幸いです。

〈協力企業〉TUTU、中田会館

課題実習「テーマ設定シート」

作成日： 月 日

科名：ホテルビジネス科

教科の科目		実習テーマ名	
総合制作実習		うちなーフォトウエディング～オリジナルウエディングの企画・実施～	
担当教員		担当学生	
ホテルビジネス科 山崎 浩一			
課題実習の技能・技術習得目標			
<p>県の基幹産業である観光業の商品バリエーションであるブライダルの調査・研究を通して、ウエディングについての知識を身につけるとともに、挙式をしないカップルにも気軽にできるブライダルを新しい観光資源の一つとして広く利用できる商品開発に取り組むことで、商品企画の作業、工程を習得します。</p>			
実習テーマの設定背景・取組目標			
実習テーマの設定背景			
<p>経済産業省・厚生労働省のデータによると最近では、挙式をしないカップルが増えその割合が5割を超えています。こうした傾向の中でも、沖縄の基幹産業である観光業の商品バリエーションの一つであるブライダルは、なくてはならない物の一つとして沖縄の業界では認識されています。そこで挙式を挙げない原因を調査し、対応策として気軽にできるブライダルで思い出に残るような物にしたいとテーマにしました。本研究では、結婚式を挙げるのがなくても一生一度の記念として残す為のフォトウエディングを企画制作しました。これは県の産業としての経済効果も期待できることから、今までに他の所にもあるものいかに付加価値を持たせるかという、商品の差別化が必要です。</p>			
実習テーマの特徴・概要			
<ul style="list-style-type: none">・ブライダルの由来、歴史などの基礎知識を学びます。・県内外の現状を調査(商品、知名度等)します。・フォトウエディングが今後観光資源となるかを調査します。・フォトウエディングをPRできるブライダル商品として企画実施を行い、ポリテックビジョンで発表し、報告書を作成します。			
No	取組目標		
①	調査、学習スケジュールを計画する。		
②	チームで分担や進捗管理について話し合い実行計画を作成する。		
③	ブライダルについての由来、歴史を調査する。		
④	現状調査を各種方法で行い県内の現状を把握する。		
⑤	フォトウエディングが観光資源になりえるかを調査する。		
⑥	想定結果と異なる場合に、その原因を分析し、問題解決策を検討する。		
⑦	5S活動に基づいて実習を進める。		
⑧	月毎に進捗をチェックし、スケジュール管理をする。		
⑨	無形物であるフォトウエディングの企画・実施を行いアルバム等を作成する。その際その過程での問題点を分析検討し対応策を講ずる。		
⑩	発表用資料の作成、報告書作成及び発表会をする。		